

## 国土交通省中部地方整備局との意見交換会

### 三重県商工会議所連合会

令和8年2月9日（月）、三重県商工会議所連合会（会長：小川謙）は、四日市商工会議所において、国土交通省中部地方整備局との意見交換会を開催しました。

県内12商工会議所の会頭・副会頭、専務理事の25名が出席し、国土交通省からは中部地方整備局の森本輝局長をはじめ担当部長等の11名が参加しました。

小川会長は挨拶の中で「地元経済界からの要望が高い道路整備について、多くの路線で工事が着実に進捗していることに対し、感謝を申し上げます。道路が整備されることで、交通渋滞緩和や物流がスムーズになることはもとより、地域経済の活性化や地震等の大規模災害時の緊急輸送路など、地域において重要な役割を果たすこととなり、地域活性化に寄与する大変重要な社会基盤として、企業誘致や観光振興についても大いに期待しているところであり、早期の完成を心待ちにしております。」と述べました。



▲挨拶をする小川会長

森本局長からは、政府の経済活性化、国土強靱化の方針に基づき、公共投資予算に触れられ、インフラ整備と地域の安全確保に全力を尽くす旨の挨拶があった後、中部地方整備局より「社会資本整備をめぐる最近の動き」について、リニア中央新幹線開業を見据えたスーパー・メガ・リージョン構想、次期中部圏広域地方計画、公共事業関係費の推移と国土強靱化実施中期計画による予算、1月の少雨による渇水状況、鈴鹿川・雲出川・宮川水系等



▲挨拶をする森本局長

の対策状況、四日市港霞ヶ浦地区のふ頭延伸、海岸保全施設整備、東海環状自動車道、北勢バイパス、伊勢大橋、名阪連絡道路等の調査・整備状況など説明を受けました。



▲意見交換会の様子

情報提供後は、「北勢地域」「中勢・伊賀地域」「南部地域」の3地域ごとに、各商工会議所の会頭等が発言、同整備局が回答し、意見交換を行いました。

最後に、小川会長と森本局長から総括があり、今後のインフラ整備に向け大変有意義な意見交換会となりました。